

第23回日本死の臨床研究会中国・四国支部大会

プログラム集

大会テーマ

「いのちを抱きしめる」



| | |
|------|--|
| 大会長 | 山口 龍彦（医療法人山口会 高知厚生病院） |
| 開催形式 | Web開催 |
| 会期 | 2023年5月21日 |
| 主催 | 日本死の臨床研究会中国・四国支部 |
| 後援 | 高知県・高知市・高知大学医学部附属病院・ 高知医療センター・高知赤十字病院・細木病院・ いずみの病院・国吉病院・須崎くろしお病院・ 函南病院・もみのき病院 |

1. 大会長挨拶



開催のご挨拶

第23回日本死の臨床研究会中国・四国支部大会 大会長

医療法人山口会 高知厚生病院

理事長 山口 龍彦

みなさん、日本死の臨床研究会中国・四国支部大会に集まっていただきましたこと、心より御礼を申し上げます。この挨拶を書いている3月末、新型コロナパンデミック第8波は終息しつつあるように見えます。3年余りにわたり、社会の景色を大きく変えた疫病災害が、このまま、静かに消え去って、晴れて大会当日を迎えられるとすれば嬉しい限りです。

今大会のテーマは「いのちを抱きしめる」としました。市民公開講座の演者を引き受けてくださった小笠原望先生のご著書「診療所の窓辺から—いのちを抱きしめる、四万十川のほとりにて—」からいただいたテーマです。

人は毎日心の中にいろいろな思いを持ちながら生きています。神様から褒められるような美しい心で過ごす時間があるかと思うとその反対の思いを持つこともあります。特に病の時にはマイナスの暗い思いを持つことも多くなりがちです。そんな時、小笠原先生が優しい、限りなく優しい眼差しと言葉で抱きしめてくださいます。するとどうでしょう、患者や家族は小笠原先生のその不思議な力によって癒され、また生きる力を与えられます。笑顔が戻ってきます。

私たちはいったいどうすればそのような「癒し人」になることができるのでしょうか。

私は、「いのちを抱きしめよう」と思うことが大切だと感じています。ひらがなで書く「いのち」は「たましい」のことです。身体はご両親を縁としていただいたものですが、人間のたましいは仏の分けみたまとして、仏の子として創られたもので、仏の性質（仏性）を持つ存在です。だから、人のいのちはみな尊いのですね。その尊いいのちを抱きしめてみませんか。

この大会を機縁として、小笠原先生のような「癒し人」を目指される方がたくさん出現してくださることを願っています。

今回のWeb開催では、たとえコロナの第9波が襲ってきたとしても多くの方々が参加できるように各県にサテライト会場を設営し、インターネット配信を行うことにしています。この大会が皆様の思い出に残る大会であってほしいと願っています。

2. 開催概要

●会議の名称

第23回日本死の臨床研究会中国・四国支部大会

●テーマ

「いのちを抱きしめる」

●大会長

山口 龍彦（医療法人山口会 高知厚生病院 理事長）

●会期

2023年5月21日（日）

●開催形式

オンライン開催（Web開催）

●大会事務局

医療法人山口会 高知厚生病院 事務

〒781-8121 高知市葛島1-9-50

高知厚生病院 担当：山口（礼），西村，小栗

TEL:088-882-6205, FAX:088-883-1655

e-mail : kanwa-hospice@kochi-koseihp.jp

●中国四国支部事務局（入会手続き）

鳥取市立病院 がん相談支援センター

〒680-8501 鳥取県鳥取市的場1-1

TEL:0857-37-1522, FAX:0857-37-1558

e-mail : c-rinsyo@hospital.tottori.tottori.jp

3. 参加者の皆様へ

1)開催形式

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、オンライン開催(Web開催)といたしました。顔の見える交流を少しでも再開したいと考え、サテライト会場での視聴もできるように考えています。

2)参加費

参加費は医療福祉関係者、一般市民、会員、非会員を問わず、一律1,000円としております。午前の部(研究会)、午後の部(講演・映画視聴)いずれの参加においても、個人参加・サテライト会場での使用にかかわらず、受信されるPCなど(タブレット、スマートフォン)1台につき、参加費として1000円となります。

参加登録・銀行振込確認ののち、ZoomID、パスワード、映画視聴用のURL、QRコードを発行させていただきます。

3)参加登録(参加申込方法)(4, 5, 6ページ参照)

オンライン開催になりますのですべて事前参加登録となります。

サテライト会場開催の希望の方は、サテライト開催希望、または個人参加希望を明記して下さい。

4)参加申込後の流れ(6ページ参照)

- ①参加登録メール受領後3日以内に受領確認をEメールでお知らせいたします。
- ②銀行振込確認ののち、参加費受領証、抄録集を受領確認のe-mailに添付し発行いたします。
- ③大会2日前までに、ZoomミーティングのミーティングID、パスコード、映画視聴用のURL、QRコード、参加証明書をEメールで発行させていただきます。(参加証明書は個人参加の方のみに発行させていただきます)
- ④5月21日(日)支部大会当日は午前8時30分からZoomに入室できます。
- ⑤映画視聴に関しては、5月21日(日)14:00から5月23日(火)23:59までの間に、映画視聴用のURL、QRコードからYouTubeにアクセスしていただくと視聴できます。

【参加登録(参加申込)方法】

1) 参加登録期間: 2023年4月1日(土)～5月16日(火)

2) e-mail (Eメール)での申し込み

メール題名に「参加申し込み」と記載の上、メール本文に3)の「必要事項」を記入し、第23回日本死の臨床研究会中国・四国支部大会in高知事務局宛てe-mail【kanwa-hospice@kochi-koseihp.jp】で送付してください。(参加申込書をダウンロードし添付してください)その後、指定の口座に参加費をお振込み下さい。

3) 必要事項(参加申込書をダウンロードし、e-mailに添付)

- 名前(フリガナ)
- 居住地または勤務地(県名)
- 所属(病院名等, 部署名)
- e-mailアドレス
- FAX番号
- 住所
- 携帯電話番号
- 希望の参加方法(個人参加 または サテライト会場用)

4) 参加登録費

医療福祉関係者, 一般市民, 会員, 非会員を問わず, 一律1,000円(振込手数料は参加者負担でお願いいたします)

5) 支払い方法について

下記口座に2023年5月18日(木)までにお振り込みください。

【振込先】

銀行名: 四国銀行

支店名: 木屋橋支店

店番号: 112

預金種目: 普通

口座番号: 5173405

口座名義: 日本死の臨床研究会 高知支部 代表 山口龍彦

第23回日本死の臨床研究会中国・四国支部大会(高知)事務局

e-mail : kanwa-hospice@kochi-koseihp.jp

第23回日本死の臨床研究会中国・四国支部大会

参加申込書

| | |
|---------------|---------------------|
| フリガナ | |
| 名前 | |
| 居住地または勤務地(県) | |
| 所属(病院名等, 部署名) | |
| E-mailアドレス | |
| FAX番号 | |
| 住所 | |
| 携帯電話番号 | |
| 参加方法 | (個人参加 ・ サテライト会場用) |
| 備考 | |
| | |
| | |

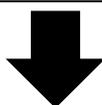
* お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は, 本研究会開催のためにのみ使用し, その他の目的には使用いたしません.

【参加登録(参加申込)から大会当日までの流れ】

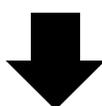
e-mailで大会事務局に参加登録
(登録方法はプログラム集に記載)
(4月1日(土)~5月16日(火))



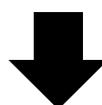
参加登録メール受領後3日以内に
受領確認をe-mailでお知らせいたします。



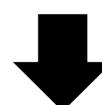
参加費入金(銀行振込)
入金〆切2023年5月18日(木)



銀行振込確認ののち, 参加費受領証, 抄録集を
受領確認のe-mailに添付し発行



大会2日前までに, ZoomID, パスワード, 映画視聴用のURL,
QRコードをe-mailに添付し発行



5月21日(日)支部大会当日
午前8時30分からZoom入室可

* 期限までに受領メール, ID, パスワード, URL, QRコードが
届かない場合は大会事務局にご連絡ください。

【大会事務局】

〒781-8121 高知市葛島1-9-50

高知厚生病院 担当: 山口(礼), 西村, 小栗

TEL: 088-882-6205, FAX: 088-883-1655

e-mail : kanwa-hospice@kochi-koseihp.jp

4. 発表者の皆様へ

- パワーポイントで行っていただきます。(Zoomでの画面共有をいたします)
- スライドサイズはワイド画面(16:9)での作成をお願いします。
- 発表のデータは、2023年5月19日(金)までにメールの添付ファイルで大会事務局まで送付をお願いします。(e-mail : kanwa-hospice@kochi-koseihp.jp)

お送り頂きましたら、事務局で動作確認を行います。

トラブルなく進行を行うために、ご協力のほどよろしく申し上げます。

- 一般演題の発表時間は、8分です。質疑応答時間は、1演題毎に3分です。
- オンラインでの発表、スライド共有が不慣れな発表者、司会の方のために事前に操作練習・確認も予定しています。日程につきましては、近づきましたら、ご連絡させていただきます。
- 任意の場所(自宅や職場、サテライト会場)で、PCでZoom(WEB会議システム)を使用して発表を行って頂きます。当日は、研究会開始20分前までの入室をお願いいたします。
- 事前にZoomアプリのダウンロードをお願いいたします。
- Zoomアプリをお持ちの方は最新バージョンへのアップデートをお願いします。
- 極力静かな場所で雑音が入らないようお願いいたします。ご発言以外はミュート設定をお願いいたします。
- 事前に、ご自身の名前の入力をお願いいたします。
- トラブル発生時のヘルプのため、事務局から携帯電話への連絡をさせていただくことがあります。事務局にお知らせいただきました携帯電話をマナーモードに設定の上、お近くにお持ちください。

5. 司会(座長)の皆様へ

- 任意の場所(自宅や職場, サテライト会場)で, PCでZoom(WEB会議システム)を使用して発表を行って頂きます. 当日は, 研究会開始20分前までの入室をお願いいたします.
- 一般演題の発表時間は, 8分です. 質疑応答時間は, 1演題毎に3分です.
- オンラインでの発表, スライド共有が不慣れな発表者, 司会の方のために事前に操作練習・確認も予定しています. 日程につきましては, 近づきましたら, ご連絡させていただきます.
- 事前にZoomアプリのダウンロードをお願いいたします.
- Zoomアプリをお持ちの方は最新バージョンへのアップデートをお願いします.
- 極力静かな場所で雑音が入らないようにお願いいたします. ご発言以外はミュート設定でお願いいたします.
- 事前に, ご自身の名前の入力をお願いいたします.
- トラブル発生時のヘルプのため, 事務局から携帯電話への連絡をさせていただくことがあります. 事務局にお知らせいただきました携帯電話をマナーモードに設定の上, お近くにお持ちください.

6. 研究会・講演会での質問について

- Zoomでのチャットを介しての質問を受け付けます.

7. タイムテーブル

| | | | |
|-------------|--------------|-----------|--|
| 8:30～ | 午前の部Zoom入室開始 | | |
| 9:00 | | 午前の部 開会 | |
| 9:00～9:05 | | 開会挨拶 | 山口 龍彦 大会長 |
| 9:05～9:52 | | 一般演題 | 第Ⅰ群 |
| | | 休憩 | |
| 10:00～10:47 | | 一般演題 | 第Ⅱ群 |
| | | 休憩 | |
| 10:55～11:42 | | 一般演題 | 第Ⅲ群 |
| 11:42～12:00 | | 挨拶 | 片山 英樹 次期大会長 中橋 恒 2023年度全国大会大会長 山口 龍彦 大会長 |
| | | 昼休憩 | |
| 12:30～ | 午後の部Zoom入室開始 | | |
| 13:00 | | 午後の部 開会 | |
| 13:00 | | 開会挨拶・講師紹介 | 山口 龍彦 大会長 |
| 13:05 | | 基調講演 | 小笠原 望 講師 |
| 14:10 | | 閉会挨拶・映画紹介 | 山口龍彦 大会長 |
| 14:10 | | 映画上映 | 映画『四万十～いのちの仕舞い～』 |

8. 研究発表会プログラム

| 第23回 日本死の臨床研究会中国・四国支部大会 | | プログラム | |
|-------------------------|------|---|--------------------|
| 時間 | 群 No | 演題名 | 演者 |
| | | 所属・部署 | |
| 9:00~9:05 | | 開会挨拶・オリエンテーション | |
| 9:05~9:16 | 1 | 最期まで抗がん治療を継続した壮年期後期の 婦人科がん患者の看護を振り返る | もりやま みき 森山 未来 |
| 9:17~9:28 | 2 | 疼痛により悲観的な思いのある 患者のケアについて振り返る | あごう ことみ 吾郷 琴美 |
| 9:29~9:40 | 3 | 脳転移、頸髄転移による上下肢麻痺、高度難聴を 抱えた患者に対しての援助 | かなつ くみこ 金津 久美子 |
| 9:41~9:52 | 4 | 強い信仰心を持った患者のスピリチュアルペイン について考える | なかがわ ふみえ 中川 富美恵 |
| 9:52~10:00 | | 休憩(8分) | |
| 10:00~10:11 | 5 | 自律性の喪失を体験する患者のケア ~それぞれの役割を大切にしたい関わりを通して~ | はまた ゆうこ 濱田 祐子 |
| 10:12~10:23 | 6 | 緩和ケア病棟の看護師が経験する困難感と対処 ~看護師の精神的健康維持の支援に向けて~ | にしお まゆみ 西尾 まゆみ |
| 10:24~10:35 | 7 | 患者・家族の意思決定支援の重要性について ~終末期患者の退院調整に着目して~ | いのうえ あずみ 井上 亜純 |
| 10:36~10:47 | 8 | コロナ禍におけるがん終末期の療養の場 看取りの場の変化 | おぐり ひろよし 小栗 啓義 |
| 10:47~10:55 | | 休憩(8分) | |
| 10:55~11:06 | 9 | 骨転移と適応障害で実在的な苦痛の対処に難渋した 膵頭部がんの一例 | こはら ひろゆき 小原 弘之 |
| 11:07~11:18 | 10 | 胃がんによるがん性腹水に4か月間 CARTを行うことで自宅療養を継続できた一例 | かんばら てつや 神原 哲也 |
| 11:19~11:30 | 11 | A病院における一般急性期病棟看護師に対する がん患者へのレスキュードーズ使用に関する調査 | わたなべ さおり 渡部 早織 |
| 11:31~11:42 | 12 | 高知大学医学部附属病院における医療用麻薬の 患者指導に対する評価 | おかもと まなみ 岡本 茉奈実 |
| 11:42~12:00 | | 挨拶 | |

9. 基調講演講師のご紹介



小笠原望（おがさわら・のぞみ）

（大野内科理事長，高知県四万十市）

小笠原望 おがさわら・のぞみ

1951年高知県土佐市生まれ。76年弘前大学医学部卒。同年徳島大学第1内科入局。77年からの赤十字病院勤務を経て、97年妻の実家である大野内科(四万十市【旧中村市】)に赴任。2000年同院院長。「かかりつけ医としての在宅医療、神経難病、心のケア」に「四万十のゲリラ医者」として活動中。若鮎川柳会、帆傘川柳社会長

著書に

「いのちばんざい」(高知新聞社)

「医への想いしなやかに」(医学書院)

「いのちを支える」(四国新聞社)

「いのちの仕舞い—四万十のゲリラ医者走る—」(春陽堂)

「四万十の流れのように生きて死ぬ—いのちの終わりを自然に受け入れるためのヒント—」清流出版

「フォト川柳 聴診器の向こう側：四万十の色 何億の生と死と」(看護の科学新社)

「診療所の窓辺から—いのちを抱きしめる、四万十川のほとりにて—」(ナカニシヤ出版)

などがある。

10. 映画『四万十～いのちの仕舞い～』のご紹介

● 5月21日(日)14:00から5月23日(火)23:59までの間に、映画視聴用のURL, QRコードからU-Tubeにアクセスしていただくと視聴できます。



高知県四万十市の診療所を拠点に、在宅医療に取り組む小笠原望医師を追ったドキュメンタリー。四季折々の表情を見せる四万十川の自然を背景に、川の流域で暮らす人々と医師との交流を見つめながら、本当の豊かさ、本当の幸せといった人生の意味を問いかける。監督は「いのちがいちばん輝く日あるホスピス病棟の40日」の溝淵雅幸。

町の中央を大河四万十が流れる高知県四万十市。人々はその恩恵や時には脅威を受けながらも川と共に生きている。そんな川の流域に暮らす人々を医療の面で支える内科医・小笠原望が営む診療所には、毎朝早くから大勢の人が訪れる。その一人ひとりに優しく語りかけ、話を聴き、そして診る小笠原医師。診療所に来ることのできない人に対しては家や入居する施設へ自ら出向いて往診する。病を診るのではなく、患者さんをその家族も含め丸ごとみて、聴く。四季折々の表情を見せる四万十川の自然を背景に、カメラは、人の“いのち”に寄り添う小笠原医師と、四万十川流域に暮らす人々との交流を追いかける。(<https://moviewalker.jp/mv64430/>より転載)

11. 支部入会のご案内

- 中国・四国支部では新規入会をお待ちしております。事務局は下記となります。
- 中国四国支部事務局(入会手続き)
鳥取市立病院 がん相談支援センター
〒680-8501 鳥取県鳥取市的場1-1
TEL:0857-37-1522, FAX:0857-37-1558
e-mail : c-rinsyo@hospital.tottori.tottori.jp
- 会費は入会費1,000円, 年会費1,000円です。
- 年に2回, 夏と冬にニュースレターを発行しています。

【大会事務局】

〒781-8121 高知市葛島1-9-50
高知厚生病院 担当:山口(礼), 西村, 小栗
TEL:088-882-6205, FAX:088-883-1655
e-mail : kanwa-hospice@kochi-koseihp.jp